

使用済み炭素繊維をCFRFPに

水平リサイクル事業化

富士加飾

富士加飾（兵庫県小野市）は、炭素繊維の水平リサイクルの事業化に乗り出す。炭素繊維強化プラスチック（CFRP）の端材やポストコンシューマーの部材から、高純度の炭素繊維を取り出す工業的プロセス技術を確立しており、このほど乾留炉や2軸押出機の据え付けも完了した。パーシジョン炭素繊維を用いたクレードに遜色ない物性を持つ射出成形用ペレット「コバトロ」を低コストで製造可能で、来春には自動車関連用途向けへの採用も目指す。連続繊維状で取り出すことも可能で、より高い物性の求められる用途への適用可能性も探る。

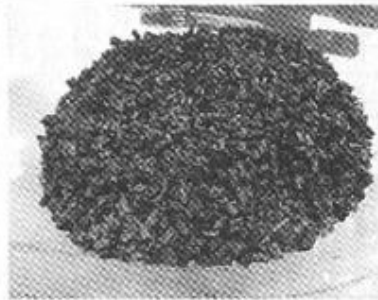
設備整い稼働開始

富士加飾は、神戸製鋼 上げたスタートアップ企業でCFRFPを長く扱ってきた杉野守彦氏が立ち 度省CO₂型リサイクル

等設備技術実証事業を成功裏に終了して認定を受けており、昨年度から環境省の設備補助をもとに事業化に着手している。同社が目指すのは、使用済み製品をリサイクルして資源に戻し、再度同

等設備技術実証事業を成功裏に終了して認定を受けており、昨年度から環境省の設備補助をもとに事業化に着手している。同社が目指すのは、使用済み製品をリサイクルして資源に戻し、再度同

等設備技術実証事業を成功裏に終了して認定を受けており、昨年度から環境省の設備補助をもとに事業化に着手している。同社が目指すのは、使用済み製品をリサイクルして資源に戻し、再度同



リサイクル炭素繊維強化樹脂ペレット「コバトロ」

通常の粉砕した後に熱処理を行うのに対して同社では炭素繊維プリプレクが何層も積層されたままの状態（むしろその硬化後の状態）で樹脂を飛ばすため、炭素繊維を長い束の状態

炭素繊維を長い束の状態

炭素繊維を長い束の状態

炭素繊維を長い束の状態

炭素繊維を長い束の状態

炭素繊維を長い束の状態